

U.S. Indicators

発表日: 2020年7月2日(木)

米国製造業は拡大サイクル復活(6月ISM製造業指数)

～経済活動再開から1ヵ月を経て製造業は拡大に転じた～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

20年6月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、52.6(5月43.1)と前月比9.5%ポイント上昇し、市場予想中央値(ブルームバーグ集計)の49.8を上回った。拡大縮小の分岐点である50を4ヵ月ぶりに上回り、5月の経済活動再開から1ヵ月を経て製造業部門が拡大に転じたことを示している。主要な構成項目である新規受注が56.4、生産が57.3と大幅に上昇したうえ50を上回っていることから、米製造業の拡大サイクルが復活したと判断される。

6月に総合(全18業種、下線は拡大・縮小が2ヵ月以上続いたことを示す)で拡大した業種は、繊維、木材製品、家具・同関連、印刷・関連サポート活動、アパレル、食品・飲料・タバコ、コンピューター・電子機器、プラスチック・ゴム、化学製品、その他製造業、非鉄、紙製品、電気設備・部品の13業種と5月の6業種から増加した。主要6業種では今月も食品・飲料・タバコが最も強い産業部門だったほか、コンピューター・電子機器、化学製品は急激な成長となった。一方、縮小した業種は、輸送機器、一次金属、加工金属、一般機械の4業種と前月の11業種から減少した。主要6業種では輸送機器、加工金属がマイナス幅を縮小した。なお、石油・石炭は変わらずとなった。

6月の構成項目別の変化をみると、経済活動の再開を受けたサプライチェーンの修復で入荷遅延が低下した一方、工場の再稼働等によって新規受注、生産、雇用、在庫が上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、入荷遅延(前月比▲2.22%p)が押し下げ寄与となった一方、新規受注(前月比+4.92%p)、生産(前月比+4.82%p)、雇用(前月比+2.00%p)、在庫(前月比+0.20%p)が押し上げ寄与となった。サブ項目では、世界経済の悪化による輸出入の停滞が続いていることが示された。輸出受注DIが、47.6と前月から上昇したものの、依然50を下回っており、米国輸出の減少を示唆している。また、輸入DIも48.8と上昇したが、50を下回り、輸入の減少を示している。

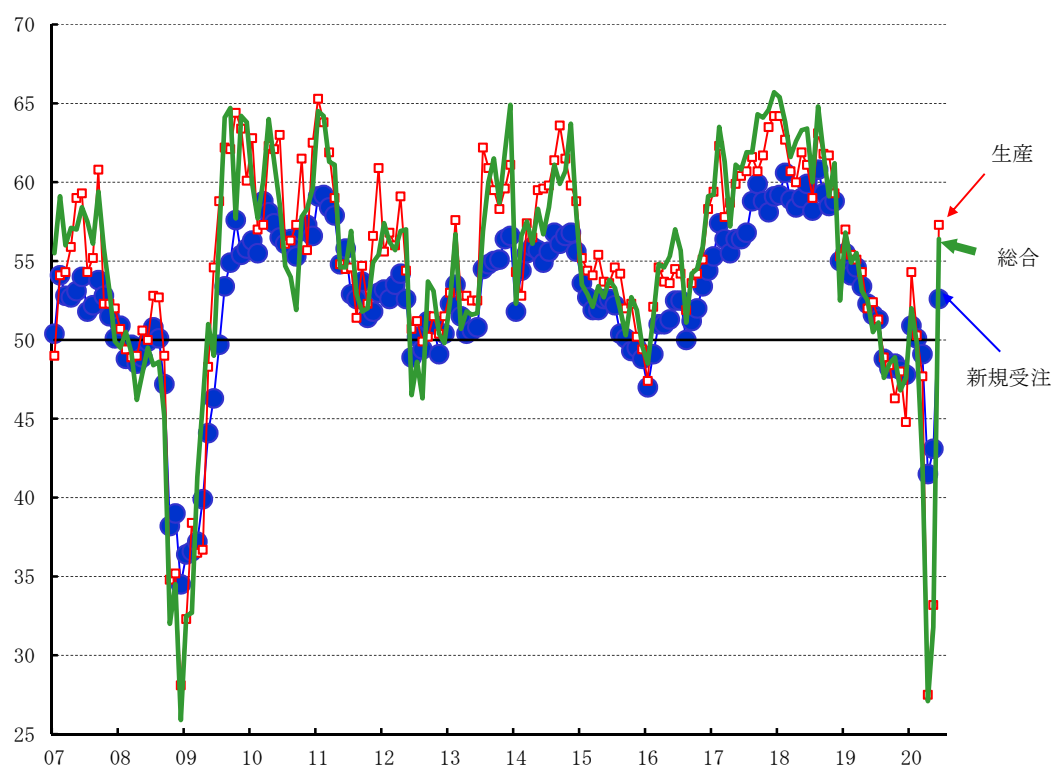
I S M製造業景気指数

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
19/08	48.8	47.6	48.9	47.6	48.4	51.6	46.3	46.0	43.3	46.0
19/09	48.2	48.5	48.4	46.5	46.3	51.3	45.1	49.7	41.0	48.1
19/10	48.5	48.9	46.3	47.9	49.4	50.1	44.1	45.5	50.4	45.3
19/11	48.1	46.8	48.0	46.8	47.2	51.7	43.0	46.7	47.9	48.3
19/12	47.8	47.6	44.8	45.2	49.2	52.2	43.3	51.7	47.3	48.8
20/01	50.9	52.0	54.3	46.6	48.8	52.9	45.7	53.3	53.3	51.3
20/02	50.1	49.8	50.3	46.9	46.5	57.3	50.3	45.9	51.2	42.6
20/03	49.1	42.2	47.7	43.8	46.9	65.0	45.9	37.4	46.6	42.1
20/04	41.5	27.1	27.5	27.5	49.7	76.0	37.8	35.3	35.3	42.7
20/05	43.1	31.8	33.2	32.1	50.4	68.0	38.2	40.8	39.5	41.3
20/06	52.6	56.4	57.3	42.1	51.4	56.9	45.3	51.3	47.6	48.8

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

(%)

(図表) I S M製造業景気指数の推移



(出所) I S Mデータより作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

